

議 事 録

会議名	第2回福山市民病院経営強化プラン評価懇談会		
日時 場所	2024年10月23日(水)19時00分～20時00分 ホールコア		配布資料
出席者	<p>【委員】 西岡 智司, 木宮 高代, 小野 裕之, 田中 知徳, 栗江 卓巳</p> <p>【院内】 高倉, 室, 貞森, 植木, 内田, 金尾, 渡邊, 來山, 近藤, 河村, 細井, 塚村</p> <p>【事務局】 西原, 柳生, 松本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1: 席次表 ・資料2: 福山市民病院経営強化プラン 評価懇談会設置要綱 ・資料3: 懇談会委員名簿 ・資料4: 福山市民病院経営強化プラン 改定資料 ・福山市民病院経営強化プラン説明資料 ・説明資料の新旧対照表 	
傍聴者	なし		
議題	項目	検討内容	質問・回答
	経営企画部長	配布資料の確認	
1	病院事業管理者 開会の挨拶	<p>委員の皆様には、本日はお忙しい中、懇談会へご臨席いただきありがとうございます。</p> <p>昨年の11月に、委員の皆さま方には第1回の評価懇談会にご出席いただき、そこで総務省からのガイドラインと当院の経営強化プラン案についてご説明申し上げました。その後は、2024年3月に市議会、そして福山・府中圏域の地域医療構想調整会議の場で承認され、「福山市民病院経営強化プラン」となりました。</p> <p>本日はこのプランで示されている、経営指標の2024年度の上半期時点の数値や、新たに取り組んでいる井原市・笠岡市との公立病院連携等についてご説明させていただきます。</p> <p>2023年度の福山市民病院の決算は非常に厳しい状況で、約10億円余りの赤字となっています。プランの着実な達成のために、如何に取り組めばよいのか、ご意見を伺えればと思っています。</p> <p>どうかよろしく願いいたします。</p>	
2	経営企画部長 出席者の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・委員5名を紹介 →小林委員、清原委員は業務の都合により欠席 ・当院出席者を紹介 ・本懇談会設置要綱第5条により、議事の進行は座長へお願いします。 座長には、西岡委員へ就任をお願いしたいと思います。 (他委員から異議なし) 	

	西岡委員 の挨拶	<p>先ほど高倉管理者からもお話があったように、病院の経営について非常に厳しい時代になっており、市民病院だけでなく市中の病院についても非常に厳しい状況となっております。医療材料の高騰や人件費の高騰等もあり、病院にとって良い条件があまりないという状況で、我々の医療も福山市民病院に頼らせてもらっている状況かと思えます。</p> <p>本日は福山市民病院の中長期のプランについて、有識者の皆さまのご意見を頂戴し、建設的な会にしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>	
3 (1)	福山市民病院 経営強化プランの 実施状況について	(事務局からの説明) ・「福山市民病院経営強化プラン説明資料」に沿って説明	【説明者】 來山
	意見交換	<p><u>資料 9 で市民病院の役割として「大学等と連携した人材確保や教育研修の充実」とあり、主な連携先は「大学」だと思うが、「等」の部分は何を示すのか教えていただきたい。</u></p> <p>→基本的に大学である。人材確保については、外からの飛び込みで来られる場合もあり、具体的には整形外科、救急科等は、大学とは関係なく他の病院で勤務されていたが、高次エネルギー外傷などの症例数が国内でもトップクラスなので当院で研修したいということで来てくれた方が、現在も 2 名在籍している。浜松の病院から来てくれており、救急科についても、今年度は 0 名だが、昨年度は山口大学や山形大学から来られており、そういった意味で「等」と書いている。</p>	【質問者】 田中委員 【回答者】 高倉
	意見交換	<p><u>資料 11(2)の「臨床研修医の確保」について、専攻医の状況についても教えていただきたい。</u></p> <p>→基本は各科でリクルートしている。自院の初期研修医や大学の医局と連携し他院の初期研修医にリクルートしている。来年度からリクルートの支援会社が専攻医部門を始めるので、そちらを利用しようとも考えている。</p> <p><u>初期研修後、専門的な研修を行い、その後市民病院で医師になると言うことも聞いている。そういった点からも他の病院の研修医から興味を持たれるのはいいことだと思う。</u></p> <p>→卒業年度によって違うが、大体半数程度は市民病院に残って専攻医プログラムに入る。他の大学からも来ており、例えば川崎医科大学や川崎総合医療センターからも専攻医が来ている。現在 20 人近く専攻医が在籍している状況ではある。</p> <p><u>資料 20 の「PFM」について具体的に教えて欲しい。</u></p> <p>→入院支援の強化版というかたちで、入院が決まってから入院までに患者情報を集め、家庭の状況や薬の状況を精査し、入院した時に手術だけ受ければ良いという状況にすることをめざしている。転院が必要なら、早めに転院の事前調整を行っている。そうした取組によって術後の合併症も抑えられ、在院期間の短縮化につながると言われている。</p> <p>入院前に多職種で関わっているというのがポイントになっている。</p>	【質問者】 田中委員 【回答者】 植木, 高倉

意見交換		<p><u>物価高騰の折、当初予定していた建築費などが年々高騰するなどの状況もあると思うが、赤字につながっているのではと感じる。</u></p> <p><u>市内の分娩に対応をしていない産科を訪問して、その妊婦さんの分娩も取り扱うということだが、備後地域の産科が閉院している状況を把握していると思うが、助産院についてはどうか？</u> <u>また、助産院での分娩もあるが、産前産後のケアに特化していると思うが、助産院での分娩の対応はどうか？</u></p> <p>→現在、助産院開業の場合に嘱託医療機関との提携が必要となる。現在笠岡市の「晴れの国お産所」と提携医療機関として連携している。福山市の助産院は分娩までは取り扱っていないという施設が多いので、市内の助産院とは協定を結ぶに至っていない。</p> <p><u>人材育成の部分で、社会情勢の変化や働き方改革が導入される中で、看護師・助産師・コメディカルの離職率はどうか？</u></p> <p>→2023年度は、看護師の離職率の平均が全国的には10%程度という中で、本院は4.8%という状況。公的医療機関なので福利厚生や出産後に働き続けられる環境を整える必要があると思う。働く人が今後減少する中で定年延長もある。プラチナナースの活用や、また地域とつながることで地域に住んでいる人を支えられる環境を作っていく必要がある。当院には24人の専門性の高い認定看護師もおり、こうした看護師が地域とつながり支えていくことが、体力のある医療機関の使命になると考えている。質問の離職率で言えば、低い状況にある。</p> <p><u>人材育成に関わり将来的なことになるが、周産期センターからの退院後、将来的に訪問看護等の支援を受ける方もいると思うので、訪問看護ステーションの対象者が幅広くなり重要となるため、こうしたところに務める看護師・助産師・保健師などが研修を受けることが必要となると思うが、そういったシステムも検討してもらいたい。</u></p> <p>→広島県看護協会で、訪問看護と病院看護の相互派遣交流を以前行っており、病院と在宅をつなぐ必要があるということで参加していたが、現在自走化している。研修期間中の自施設での人数確保等の課題があり、相互での対応の視点は必要だと考えている。</p> <p><u>LED化は本学も実施したが、費用がかかるので、日常的な節約としてこまめな消灯等もいいと思う。</u> <u>車のハイブリッド化を検討してもいいと思う。</u></p>	<p>【質問者】 木宮委員</p> <p>【回答者】 内田</p>
意見交換		<p><u>医療的ケア児の対応については課題に思っており、行政等と連携して進めていきたい。</u> <u>他病院も含めレスパイト対応も進めていきたい</u></p>	西岡委員

	意見交換	<p><u>収益が求められない患者、未払いなどもあると思うが、資料 19 の「医療費連帯保証人代行制度」とは具体的に何か</u></p> <p>→これまで、入院患者限定だが、自世帯とは別世帯で連帯保証人をたてていただいていたが、昨今連帯保証人を立てること自体が困難になっている状況もある。これに対して、代行会社が債権を立替、立替払い後代行会社と患者との間でのやりとりで回収することになる。 最後患者が支払わなかった場合には、代行会社も損保に入っており、保険料で回収することになる。</p> <p><u>代行会社とは入院患者本人が契約するのではなく、病院がするということか？</u></p> <p>→はい。</p>	<p>【質問者】 小野委員</p> <p>【回答者】 細井</p>
	意見交換	<p><u>PFM について、多職種での関りとして、現在薬剤師が関わっていないが、今後の状況は？</u></p> <p>→現在、院内の薬局から来てもらい関われる場合には関わってもらっている。患者をお待たせしてしまう場合には難しいこともある。人材配置も含めて、専従・専任も考えている。</p>	<p>【質問者】 栗江委員</p> <p>【回答者】 植木</p>
	意見交換	<p><u>工事の進捗は順調か？</u></p> <p>→3月上旬から工事に着手し、現在は建物基礎の掘削と地盤改良工事がほぼ完了に近い状態で進んでおり、10月から建物の基礎工事・免震工事に着手している。 現在は7%程度の出来高で順調に進んでいる。</p> <p><u>2026年度の稼働に向けて順調か？</u></p> <p>→順調である。</p>	<p>【質問者】 西岡委員</p> <p>【回答者】 渡邊</p>
	意見交換	<p><u>産婦人科が10床から20床になって、紹介数はどうか？</u></p> <p>→紹介数は増えている。セミオープンシステムの案内を行った病院から、セミオープンだけでなく分娩そのものの紹介もあり産科の医療相談も増えている状況である。 →4月からプレNICUを稼働し、34週以降の新生児を取り扱うことになった影響もあると思う。</p> <p><u>総病床数が変わらない中で、産婦人科を増床したことによる、一般の医療への影響は？</u></p> <p>→現状ではない。現在の稼働率では大丈夫だと考えている。</p> <p><u>産婦人科について今後は50床程度まで増えると思うが、影響はないのか？</u></p> <p>→影響はあると考えるが、DPCⅡ越えの患者も20%程度いる、これを連携する中で転院をしていく。救急でも後方搬送をすることで病床運営をしていく必要がある。 圏域の急性期医療機関の構図が変われば、ベッドを増やすことができるようにはしている。</p>	<p>【質問者】 西岡委員</p> <p>【回答者】 塚村, 高倉</p>

	意見交換	<p><u>資料 22 の手術室の手術件数について、目標値に少し足りないという実績予想が出ているが、働き方改革の影響によるものか？</u></p> <p>→指標の件数は、手術室で行う手術の件数であり、以前は簡単な処置も手術室で行っており、その件数が含まれていた。この度、眼科の手術室で行っていた処置を外来でするようになったので、その分件数が減少している。 働き方改革の影響ではない</p> <p><u>外来でできることは外来でやっていくという方針か。</u></p> <p>→はい。</p>	<p>【質問者】 西岡委員</p> <p>【回答者】 高倉</p>
	意見交換	<p><u>新規採用の看護師は地元出身者が多いか。</u></p> <p>→以前は地元出身者が多かったが、現在状況が変わりつつあるが、保健所等で、地元就職するような働き掛けが活発なものもあり、依然として地元出身者の就職率が多いと感じている。</p>	<p>【質問者】 西岡委員</p> <p>【回答者】 内田</p>
	意見交換	<p><u>医療機器の価格は高騰しているのか</u></p> <p>→全般的に年々高くなっている傾向にある。前回更新時に比べると、数割以上値上がりしているものもある。輸入による為替の影響等、様々な要因がある。</p> <p>→医療材料は大量に使うので、当院も日本ホスピタルアライアンスを入れて価格を抑えるようにしている。 手術材料は、医師によってこだわりがあるが、相談する中で低価格のものを導入したりしている。</p>	<p>【質問者】 木宮委員</p> <p>【回答者】 近藤, 高倉</p>
	意見交換	<p><u>PFM について、入院前後を支援するものであると思う。今後は単身世帯も多くなり人との関わりが希薄になっていく中で、医療と福祉が連携して重層的支援体制を整備する必要があると考えている。</u></p> <p><u>退院後に地域で孤立しない環境をつくるために、福山市民病院の方でも地域資源を活用してもらえれば、退院後に居宅に帰ってからの見守りであるとか、日々の状況の確認であるとか、社会福祉協議会でも役に立てる部分もあるので、何かあれば相談して欲しい。</u></p> <p>→PFM での多職種には MSW も入っているので相談させていただきたい。</p>	<p>【質問者】 小野委員</p> <p>【回答者】 植木</p>
(2)	福山市民病院への要望	(1)に含む	
(3)	その他	なし	
4	院長 閉会の挨拶	<p>本日は長時間にわたり多くの貴重なご意見・ご指摘を頂きありがとうございました。</p> <p>今後、ご意見・ご指摘に則り、経営強化プランを職員ともども推進してまいりたいと思います。</p> <p>今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。</p>	

	経営企画部長 事務連絡	本日の会議の概要については、事務局にて整理のうえ、後日送付させていただきます。	
--	----------------	---	--